

基本構想の視点「ひと」検討シート①

資料 4

施策群

家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む

妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える

児童・生徒の心身の健全な発達

- ・ 学校内の多様性が求められている

学 力 の 定 着

- ・ 中学校のレベルが低くて行かせたくないという意見を聞く。底上げが必要。
- ・ 学力と地域に関連を感じる
- ・ 優秀な児童・生徒を更に伸ばす施策

妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援

- ・ 中間所得層が出産、子育てをしやすくなるまち
- ・ 困難があったときに相談できるような関係をつくっていく支援

課題を抱える子どもへの支援

- ・ 子どもの居場所がなくなっている
- ・ 子どもの第3の居場所（サードプレイス）
- ・ 支援者から声をかけることで本当の悩みや困りごとが分かる
- ・ コロナ禍による環境の変化、不登校の増加
- ・ グレーゾーンと言われる層への支援
- ・ 特別支援学級の充実
- ・ 家庭の財政への支援
- ・ 親同士をつなぐ場を大事にすることが、家庭の再生につながる

教育施設の整備・学校運営

- ・ 教職員の負担が大きい
- ・ 保護者が学校に丸投げし過ぎている
- ・ NPO などいろいろな団体や人が関わってほしい
- ・ コンビニエンス（便利さ）を学校に求めている
- ・ 学校格差の解消
- ・ 底上げが必要な学校には良い人材を配置してほしい
- ・ スクールハラスメント対策

子育てと仕事の両立支援（待機児童対策等）

虐待防止・ひとり親家庭への支援

たくましく生き抜く力を育む成長支援

そ の 他

- ・ コロナ禍でコミュニケーションが取りづらく、PTA の活動が停滞している
- ・ PTA に対して後ろ向きの姿勢をとられる
- ・ 母親に負担がかかっている

そ の 他

課題・方向性など（全体会①～分科会①までの意見を含む）

基本構想の視点「ひと」検討シート②

資料 4

施策群

生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を実践できる仕組みをつくる

多様な個性やライフスタイルを認め合う風土を醸成する

課題・方向性など（全体会①～分科会①までの意見を含む）

文化・芸術活動

郷土の歴史継承

生涯学習活動・地域における学び

生涯スポーツ活動・地域還元

その他

人権尊重意識

男女共同参画社会

- ・ 男女の家事・育児分担がよく話し合われていない
- ・ 家庭内男女共同参画が必要
- ・ 男性ゆえの生きづらさ
- ・ ジェンダー平等社会の推進

多文化共生社会

ユニバーサルデザイン

その他

基本構想の視点「行財政」検討シート①

施策群

多様な主体による協働・協創を進める

協 創 の 推 進

- ・ 行政がやり過ぎとを感じるので、NPO 等と一緒に協創していくことが必要
- ・ NPO 等とは契約当事者の関係（委託元と委託先）になってしまっている
- ・ NPO 等を再度、行政で育てていく

地 域 活 動 の 活 性 化

そ の 他

- ・ 他自治体と給付合戦になってもいいので、他区市町村より上乘せした施策をする
- ・ 中間層にメリットがある施策が少ない
- ・ 予算をかけなくてもソフト面で質を上げる
- ・ 民間を圧迫するような施策ではなく、地域の事業者にも利益のある施策が必要
- ・ 無駄な施策の廃止が必要
- ・ 職員提案や所属を超えた提案による施策

戦略的かつ効果的な行政運営を行う

効 果 的 ・ 効 率 的 な 区 政 運 営

戦 略 的 な 人 事 管 理 ・ 組 織 運 営

- ・ どれだけ足立区に良い人材を揃えられるかが重要
- ・ やりがいのある、働き甲斐があるといった支援策
- ・ 政策コンテストや改善コンテストなどモチベーションになる施策
- ・ 適切な評価

そ の 他

- ・ 職員に対する目線が厳しい。ノイジーマイノリティの声に過度に対応しなくても良いのでは。

課題・方向性など（全体会①／分科会①までの意見を含む）

基本構想の視点「行財政」検討シート②

施策群

区のイメージを高め、選ばれるまちになる

次世代につなげる健全な財政運営を行う

課題・方向性など（全体会①／分科会①までの意見を含む）

魅力の発掘・創出やプラスイメージへの転換

将来にわたり安定した財政運営

効果的な情報発信・区政情報の透明化

- ・ 区の発信する内容には、難解な言葉が多く、上を向いてしまっているように感じる

自主財源の確保

公有財産活用・長寿命化

- ・ 公共施設の在り方について、居場所や若い人の視点、長寿命化など複合的なことを考える必要がある

その他

その他